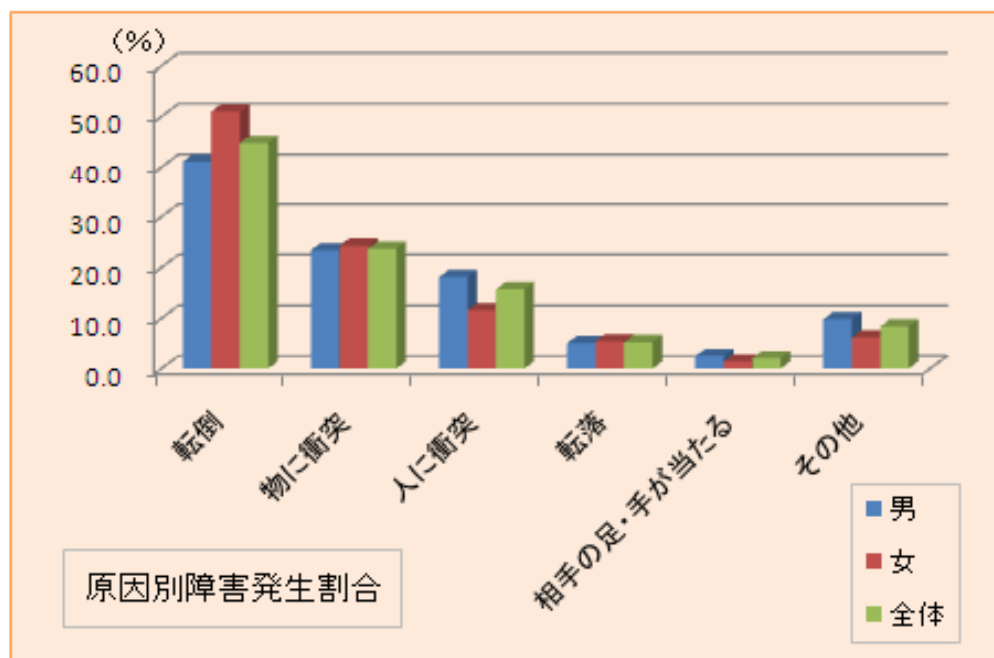


歯・口のけがを防ごう！（小学校編）

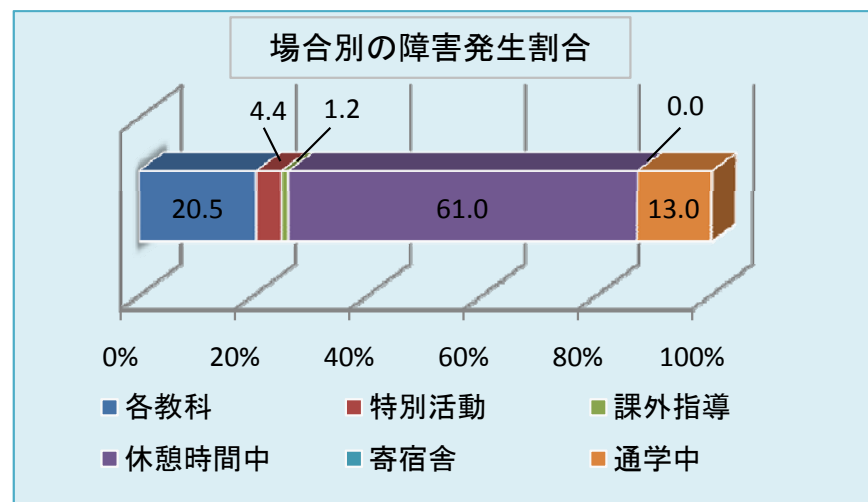
小学校では、転倒、物に衝突、人に衝突、が原因で歯・口をけがすることが多く、歯・口のけが全体の84.2%を占めています。また、場合別でみると休憩時間中が61%を占めており、事故が起こりやすいことがわかります。

これらの傾向がみられるのは、以下の小学生の発達特性が影響していると考えられます。



（小学校の発達特性）

- ・身体的機能が発達途上であり、バランス感覚等がつかみにくい。
- ・感情のまま、突発的な行動を起こしやすい。
- ・危険を予測して行動することが難しい。



性別	転倒	物に衝突	人に衝突	転落	相手の足・手が当たる	その他
男	41.1	23.4	18.1	5.1	2.5	9.8
女	51.0	24.3	11.6	5.5	1.4	6.2
全体	44.8	23.7	15.7	5.3	2.1	8.4

こんなけがが多いよ！（小学校編）

☆転倒☆ ～用具の準備をしっかりと～

体育の授業で跳び箱をしていた際に、顔面から落下し、その拍子に歯を床にぶつけ歯を欠損した。（4年生）



☆人に衝突☆ ～曲がり角には気をつけよう～

休み時間、廊下で友だちと追いかっこをしていたところ、曲がり角で出会い頭にぶつかり、その衝撃で歯を痛める。（6年生）

☆物に衝突☆ ～用具の使い方に気をつけて～

クラブ活動中、バドミントンのラケットが顔と歯に当たり、前歯の歯痛が続いた。（6年生）

